

阿蘇市

スポット
探訪

西湯浦八幡宮



由緒

正歴四年（西暦993年）豊前宇佐八幡宮の御分霊を勧請して創建された。
元禄二年（西暦1689年）と明治三十九年（1906年）に神殿拝殿の再建記録がある。
祭典は旧暦では七月七日、新暦では八月七日の七夕の日に行われ、二輦の神輿が本殿から田植え歌を唱しながら御仮屋に神幸し、一般に『七夕さん』とよばれ親しまれている。

氏子 西湯浦 百三十戸

昭和54年12月

阿蘇町文化財保護委員会氏子一同
（西湯浦八幡宮立て看板より抜粋）

阿蘇市

スポット
探訪

湯浦八幡宮



由緒

創建については、花山天皇の寛和元年（西暦985年）と一条天皇の正歴四年（西暦993年）とがあり、氏子では前者をとり創建祭を催している。

昔、天慶の乱（西暦935～941年）に平将門追討の折、使者が阿蘇大明神に祈祷したところ、湯浦の熊蜂大群が朝敵の甲の中に入り刺したため、将門は動けず撤退した。そのため、初めは宇佐八幡宮を分祀して琴川の辺りに祀り後、現在に遷る。

氏子 七十八戸

平成4年10月

阿蘇町文化財保護委員会氏子一同
（湯浦八幡宮立て看板より抜粋）

編集後記

若葉の薫る季節を迎え、昨年の大水害の復旧工事も急ピッチで進んでおります。今年も梅雨の時期をひかえて、心配されるところです。

さて、今回3月定例会の議会だよりの発行となりました。今後市民の皆様方にわかりやすい紙面作りに努めてまいりますので、ご愛読いただければ幸いです。

広報副委員長

大倉 幸也

【議会広報特別委員会】

委員長 古澤 國義

副 " 大倉 幸也

井手 明廣

田中 弘子

湯浅 正司

阿南 善範

園田 浩文